

# はまぐみ小児療育センターだより

新潟県はまぐみ小児療育センター ☎951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5932番地 電話 (025) 266-0151

## いのちの先の物語を一緒に

新潟県はまぐみ小児療育センター

診療部長 西山健一

令和七年春より、新潟県はまぐみ小児療育センターの診療部長を務めることになりました西山健一です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでJ A新潟厚生連新潟医療センターにて、脳神経外科医としての診療に従事するとともに、地域連携にも力を注いできました。多職種・多機関が手を取り合い、支援を届けることの大切さを、日々の経験から強く感じてきました。はまぐみ小児療育センターは、まさに多職種連携の実践の場であり、医療・看護・福祉・行政が力を合わせ、地域全体を支える大切な拠点です。こうした場所で働かせていただけることに、大きな責任とともに、希望ややりがいを感じています。私は小児脳神経外科を専門にし、これまで多くの子どもたちと向き合ってきました。命を救えた子どもたちも少なくありませんが、常に心にあるのは「その命の先にどんな人生があるのか」という問

いです。子どもたちが自分らしく成長していくためには、医療に加え、教育や福祉、地域の力を活かした温かい環境づくりが欠かせません。とりわけ、一人一人の子どもたちそれぞれの個性や歩みに目を向け、大切にしていく社会であることが何より重要だと感じています。私自身そうした療育のあり方に深く共感し、関わっていききたいと強く思うようになりました。

2008年にはドイツ・ベルリンのシャリテ大学病院で勤務し、医療と福祉が自然に結びついた地域社会の姿に大きな感銘を受けました。近年は発展途上国を含む海外でも医療支援や技術指導に携わり、制度や資源の違いが子どもたちの命や未来に直結する現実にも直面しました。今ある社会の仕組みや支えのありがたさを、あらためて実感しています。少子化や地域格差など、社会が抱える課題が複雑化する中で、障がいのある子

どもたちとそのご家族が孤立せず、安心して暮らせる支援体制がますます求められています。はまぐみ小児療育センターがその先頭に立ち、県全体を支える拠点として機能していくことを願いながら、私もその一端を担っていかれたらと思っています。

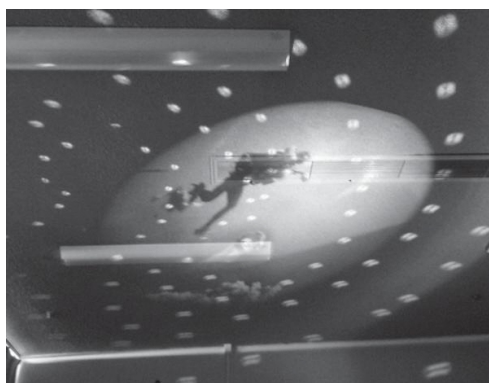
これからも学びを重ねながら、皆さまと力を合わせて、子どもたちとそのご家族の「いのちの先の物語」を支えていけるよう、誠実に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



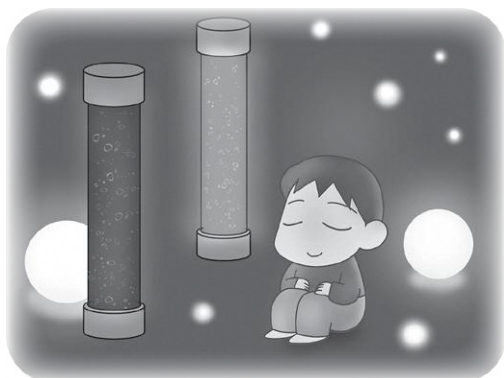
ご寄付のご紹介

「新潟市肢体不自由児者父母の会」様より、あすかへご寄付をいただきました。

利用者のみなさまが好きなスヌーズレンの機材です。天井に映像が投影され、ゆっくりと動きます。既存のミラーボールと一緒に使用すると幻想的な空間を作り上げることができます。優しい音楽を流して各々がリラックスしたり、映像を楽しんだりと活用させていただいております。素敵なご寄付、ありがとうございます。



天井に投影した画像とミラーボールの反射している様子



液体がゆっくりと移動しながら、幻想的な模様を映し出します。

はまぐみ給食のレシピ紹介

きざむほど 美味さ湧き出る

キーマカレー

◆材料 ( 1 人分 )

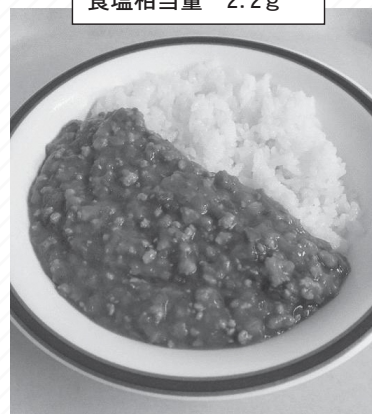
- ・ごはん 180g
- ・豚ひき肉 50g
- ・たまねぎ 40g
- ・にんじん 25g
- ・赤ピーマン 10g
- ・黄ピーマン 10g
- ・ピーマン 10g
- ・カレールウ 20g
- ・サラダ油 小さじ 1/2

◆作り方

- ①野菜はすべてみじん切りにする。
  - ②鍋にサラダ油を入れて火にかけ、豚ひき肉を炒める。
  - ③豚ひき肉の色が変わったら野菜を入れてしんなりするまで炒める。
  - ④③にひたひたになるまで水を入れて煮込み、野菜がやわらかくなったらカレールウを入れてさらに煮る。
  - ⑤好みの固さになるように水を入れて調整する。
  - ⑥さらに2～3分煮てから、お皿に盛ったごはんにかけてできあがり♪
- ★野菜は、なすやズッキーニなどを加えてもOK  
★カレールウを入れると焦げやすいので、かきまぜながら煮るとよいです。

栄養価

エネルギー	528Kcal
たんぱく質	15.6g
食塩相当量	2.2g



おすすめ絵本の紹介

小児科部長 福島 愛



「ラチとらいおん!」

作：マレーク・ペロニカ文・絵  
とくなが やすもと 訳  
出版社：福音館書店

この絵本に出てくるライオンは、大きくて、コワモテ・・・ではなく、ちよつと風変わりで、小さなライオンさんです。そして、飛行士になりたいという大きな夢をもつけれど、世界中で一番よわむし!?なラチという男の子の前に、ある朝、突如現れます。さて、ライオンは、ガオーと吠えて、ラチを守ってくれるのでしょうか。それとも・・・。

作者のマレーク・ペロニカさんは、ハンガリーの絵本作家で、他に、「ブルンミとアンニパンニ」シリーズなど、洒落た絵とともに、子どものころにそつと寄り添う温かなお話が記された、素敵な絵本をかいておられます。子どもだけでなく、大人のころにも、やさしい絵本です。



どうぞよろしく願っています  
新任職員御挨拶

事務長 石田 和紀

4月に事務長として着任しました石田です。

利用者の皆様と直接お会いする機会はありませんが、その分、センターの皆様にとつて安全・安心に過ごすことができ、さらに、春の陽だまりのように心がホッと温かくなるような場所であるように、環境整備はもとより、働く職員も常に穏やかな笑顔でいられるような、そんな「はまぐみ」を維持していけるよう、努めてまいります。

庶務課 課長(事務長補佐) 高野 幹久  
4月から事務室でお世話になっております。前任は総務事務センターでした。事務職ですので利用者の皆様にお目にかかる機会が少ないと思えますが、庶務業務を通じて働く職員をサポートすることで、お役に立てればと思っております。  
よろしく願っています。

会計課 主査 渡辺 麻理  
新発田病院から異動してきました。支払いや契約など同じような仕事をしていたのですが、病院局とは会計のシステムが異なり、忘れてしまっていたり変わっていたりで苦労しています。早く皆様の助けになれ

るように努めたいと思っています。よろしく願っています。

会計課 主査(管理栄養士) 広沢 圭子

はじめまして。4月よりはまぐみ小児療育センターで勤務しております。給食室管理栄養士の広沢と申します。

これまで保健所での勤務経験のみで、給食業務は初めてです。慣れないことも多いですが、日々学びながら、これまでの経験を活かして少しでもお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしく願っています。

リハビリ 主査(理学療法士) 石井 康朗

県立中央病院から二年ぶりに戻ってまいりました。再会したお子さんたちが大きく成長しており、時の流れは速いものだと感じます。心機一転、お子さんとご家族の生活が豊かになるようにお手伝いしていきたいと思えます。よろしく願っています。

外来 看護師長 鷲尾 公子

この度、はまぐみ小児療育センターの外来師長として、転任してまいりました鷲尾公子と申します。

小児の療育といった領域での勤務経験や外来勤務は初めてであり、わからない言葉に日々首をかしげています。時間はかかると思いますが、一つずつ確認しながら、理解を深め、

はまぐみの職員の一人として、少しでも子どもたちの診療・療育に貢献できるよう励んでいきたいと思えます。今後とも、ご指導のほどよろしく願っています。

外来 主任看護師 永井 啓祐

はじめまして、コロナーにいがた白岩の里から異動してまいりました永井です。小児療育は初めての経験で、緊張と戸惑いから表情が硬くなっている場面が多いです。しかし、子どもたちの何気ない表情やしぐさに癒され元気をもらいながら毎日働くことができています。笑顔で接し、子どもたちやご家族の皆様にお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしく願っています。

病棟 看護師長 池上 陽子

4月からはまぐみ小児療育センター病棟に勤務になりました。初めての事ばかりで指導を受けながら、勤務しています。療育について学び、焦らずに、ゆつくりと慣れていきたいと思えますので、よろしく願っています。

病棟 看護副師長 後藤 敦子

がんセンター新潟病院より異動してまいりました、後藤です。がん看護に長年携わってきたので、療育の現場は、病院との違いに戸惑うことばかりですが、学ぶことの多い毎日です。はまぐみの一員として、入所

児・者の信頼が得られ、多くの笑顔が見られるように、安全で安心できる環境の提供と、成長の支援ができるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

病棟 主任看護師 安澤 由紀

4月に移動してきました病棟看護師の安澤です。新しい環境で少し緊張もありますが、入所の方々の関わりを楽しくも感じております。先輩方に教えていただきながら利用者の方々が安心して過ごせるよう、わずかではあります但し貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

病棟 主任看護師 片岡 奈々

この度、新発田病院から異動して来ました片岡です。新発田病院では主に、地域に密着した急性期看護に携わってまいりました。療育という分野は全く初めてではありませんが、日々の子供たちや通所者さんとふれあいながら、癒しをいただいております。今までの知識と技術を生かしながら精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

病棟 主任看護師 豊島 由香

リウマチセンターから転入して参りました豊島です。リウマチセンターでは、高齢の患者さんが多かったのですが、これまでとは違う環境に戸

惑いがありますが、子ども達との関わりはとても新鮮で日々子ども達の笑顔に癒されています。経験あるスタッフの方達から学びながら、利用者さんや御家族のお役に立てるよう頑張りたいと思えます。よろしくお願いたします。

あすか 主任看護師 宮嶋 幸子

がんセンター新潟病院からはまぐみ小児療育センター「あすか」へ転入しました看護師の宮嶋です。はまぐみではいままでの看護とは異なる面もあり緊張の毎日ですが早く慣れて、利用者の方々が安心して過ごしていただける環境や支援を提供できるよう努めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

療育支援室長 齋藤 奈穂

療育支援室長に着任しました齋藤と申します。はまぐみでの勤務は10年ぶりになりますが、時代の流れとともに、求められていることが変化していると感じています。ご利用のみなさまに安心して利用していただけるよう尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

病棟 室長代理 今井 幸

コロナーにいがた白岩の里から異動し、病棟で児童指導員として勤務しています。はまぐみでの勤務は2度目で、実

に16年ぶりで戻ってきました。支援室で1年、あすかで2年の経験がありますが、一昔前のことですが、病棟は初めてなので、至らないこともあるかと思えます。利用される皆さんが、笑顔で楽しく過ごせるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

通所 室長代理 古川 佳絵

4月から通所に参りました古川です。通所をご利用されているお子様、保護者の皆様の笑顔いっぱい毎日にいつも癒されています。そして、リハビリや新しいことに一生懸命挑戦する姿に、私自身、励まされています。お子様達の成長著しいこの瞬間に立ち会わせていただいていることに感謝しながら、皆様に安心してご利用いただけるよう、尽力してまいります。よろしくお願いたします。

通所 主任 伊藤 百恵

4月に転入して参りました、通所の伊藤です。初めてのはまぐみ勤務で分からないことや至らないことばかりですが、可愛いお子さんたちから元気をもらいながら業務に励んでおります。子どもたちやご家族に寄り添った支援ができるよう頑張りたいと思えますので、よろしくお願いたします。

あすか 主任 竹内 新奈

4月からあすかにきました。利用

者の方やご家族とのコミュニケーションを通して理解を深め、利用者さんの生活の質の向上に役立てるよう、日々頑張りたいと思えます。よろしくお願いたします。

療育支援室 児童指導員 笠原 皐瑚

今年度から「はまぐみ小児療育センター」の療育支援室で勤務となりました。笠原 皐瑚と申します。私は幼いころに、はまぐみ小児療育センターにお世話になりました。今度は職員として働ける嬉しさと緊張が胸がいつぱいです。毎日の業務を先輩方に教えていただきながら、少しずつ覚えていくところですが、1日も早く業務を覚えて職員の皆様、患者様のお力になれるよう一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。

### 苦情解決の状況

令和7年3月から5月末までに寄せられたご意見は3件でした。内容は、「設備に関するもの」2件、「職員の対応に関するもの」1件でした。皆様からのご意見をもとに、気持ちよく利用していただけるセンターとなるよう努めて参ります。ご意見ありがとうございました。